

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 セーラー広告株式会社
 コード番号 2156 URL <http://www.saylor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 植村 貴好
 (氏名) 岩本 克美

TEL 087-825-1156

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,967	△3.5	△58	—	△37	—	△149	—
21年3月期第3四半期	7,221	—	21	—	42	—	△46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△25.39	—
21年3月期第3四半期	△7.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,472	1,673	37.4	284.22
21年3月期	4,442	1,846	41.3	311.35

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,673百万円 21年3月期 1,833百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	△0.6	△21	—	5	△95.4	△129	—	△22.06

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 株式会社ゴング) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等4. その他」をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 6,078,000株 | 21年3月期 | 6,078,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 188,680株 | 21年3月期 | 188,680株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 5,889,320株 | 21年3月期第3四半期 | 6,069,712株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループ商勢圏におきましては、景気の悪化に底打ちの兆しが見られる反面、雇用情勢や個人消費は依然厳しく、企業収益の悪化から広告予算を縮小・先送りする企業がより一層顕著となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、福岡支社の開設、株式会社ゴングの買収、アド・セール株式会社の完全子会社化等によって事業エリアの拡大と事業領域の拡大を図り、当四半期におきましても引き続きサービスの拡大と質の向上に努めました。その結果、地元企業の広告出稿意欲の低下から広告受注量は減少傾向にありましたが、当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は6,967百万円（前年同期比96.5%）を確保しました。

また、広告および出版の両事業において外注価格など原価の見直しを徹底したことと、当第3四半期連結累計期間における年末年始商戦に伴った広告需要の高まりから売上総利益率が1.0ポイント改善し、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は1,146百万円（前年同期比102.6%）と前年を上回る結果となりました。

しかしながら、当連結累計期間におきまして、株式会社穴吹工務店が会社更生手続開始の申し立てを行ったことに伴う取立不能又は取立遅延のおそれが生じた売上債権額82百万円のうち78百万円を貸倒引当金として計上したため、販売費及び一般管理費が1,205百万円（前年同期比109.9%）となり、当第3四半期連結累計期間は58百万円の営業損失（前年同期は21百万円の営業利益）、37百万円の経常損失（前年同期は42百万円の経常利益）となりました。さらに、株式会社穴吹工務店株式に対する評価損109百万円を含む投資有価証券評価損140百万円を特別損失に計上した結果、当第3四半期連結累計期間は149百万円の四半期純損失（前年同期は46百万円の四半期純損失）となりました。

○広告業

広告業におきましては、各拠点間の連携による新規開拓、あるいは、インターネットやモバイルを活用した新サービスの提供による新規案件の獲得に取り組みました。その結果、不動産・建築業や小売業などから印刷折込広告について安定した受注があり、地元企業の広告出稿意欲が減少するなか、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,637百万円（前年同期比96.9%）を確保しました。当社グループにおきましては、外注価格の再調整や粗利益率の改善、諸費用の削減に努めましたが、前述のとおり株式会社穴吹工務店の会社更生手続開始の申し立てに伴う貸倒引当金の計上があり、43百万円の営業損失（前年同期は43百万円の営業利益）となりました。

○出版業

出版業におきましては、営業力強化を重点項目に掲げ、新規広告主あるいは新規案件の獲得に取り組みました。その結果、拠点間の連携効果等によって、熟年世代の嗜好などをテーマとする月刊誌『ゼロ・ゴ・ゼロ』および香川県の地域情報を網羅的にカバーする月刊誌『T J かがわ』の広告売上が増加しました。また、営業部門の自主提案などによって、パンフレットやホームページなど制作案件の受注が増加、「さぬきうどん」をテーマとした単行本の売上也も順調で、出版市場全体が縮小傾向にあるなか、当第3四半期連結累計期間における売上高は329百万円（前年同期比89.3%）を確保しました。当社グループにおきましては、内制化、特集・企画に応じたページ数の適正化を図った結果、15百万円の営業損失となり、前年同期に比べ損失が縮小しました（前年同期は23百万円の営業損失）。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円の増加となりました。

資産の部では、期首から株式会社ゴングを連結の範囲に含めたことを主要因とする預金および売掛金の増加、ならびに、官公庁からの受注案件に係る外注費前払いを含むその他流動資産の増加を主な要因として、流動資産が前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、2,118百万円となりました。また、株式会社穴吹工務店株式を含む保有有価証券に係る評価額の減少による投資その他の資産の減少を主な要因として、固定資産は前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、2,353百万円となりました。

負債の部では、短期借入金の増加を主な要因として、流動負債が前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、1,922百万円となりました。また、銀行保証付私募債の発行による社債の増加、長期借入金の返済を主な要因として、固定負債は前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、876百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、1,673百万円となりました。これは主に四半期純損失および期末配当金の支払によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、355百万円となりました。

営業活動の結果使用した資金は189百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失177百万円、貸倒引当金の増加額79百万円、投資有価証券の評価損140百万円、仕入債務の減少額231百万円によるものであります。

投資活動の結果得られた資金は100百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入131百万円によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は135百万円となりました。これは主に、社債の発行による収入100百万円、短期借入金の増加額105百万円、長期借入による収入100百万円、リース債務の返済による支出4百万円および長期借入金の返済支出141百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループ商勢圏におきましては、景気は最悪の状態からは脱するものの、依然として先行き不透明な状況が継続すると予想されます。また、当社グループ主力事業である広告業におきましても、各企業の広告出稿意欲の低下は継続すると予想され、市場環境は依然厳しい状況が続くものと判断されます。

当社グループにおきましては、広告主へのきめ細かな提案活動の実施と拠点間の連携強化による新サービス、新事業の提案に努めることに変わりはなく、当社グループの通期業績予想については、平成21年12月8日に公表のとおり、売上高9,600百万円、営業損失21百万円、経常利益5百万円、当期純損失129百万円を予想しています。

なお、期末配当につきましては、平成21年5月13日に公表のとおり1株当たり4円を予定していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、株式会社ゴングの株式を取得し完全子会社としたことにより、連結の範囲に含めております。同社は特定子会社に該当いたします。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当該事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	563,185	485,673
受取手形及び売掛金	1,409,354	1,433,812
商品及び製品	37,463	40,039
仕掛品	9,992	14,926
原材料及び貯蔵品	2,129	2,308
その他	100,737	61,535
貸倒引当金	△4,344	△4,021
流動資産合計	2,118,519	2,034,274
固定資産		
有形固定資産		
土地	825,986	825,986
その他(純額)	405,065	428,075
有形固定資産合計	1,231,052	1,254,062
無形固定資産		
のれん	697	—
その他	15,322	17,415
無形固定資産合計	16,019	17,415
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	681,885	690,091
その他	519,334	461,227
貸倒引当金	△94,383	△14,615
投資その他の資産合計	1,106,836	1,136,702
固定資産合計	2,353,907	2,408,180
資産合計	4,472,427	4,442,455

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,387,880	1,403,981
短期借入金	316,330	201,832
未払法人税等	3,112	8,674
賞与引当金	39,156	78,116
返品調整引当金	5,103	5,891
その他	170,844	107,131
流動負債合計	1,922,426	1,805,627
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	520,800	541,476
退職給付引当金	139,482	132,215
役員退職慰労引当金	67,760	65,647
その他	48,080	50,960
固定負債合計	876,123	790,300
負債合計	2,798,550	2,595,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,868	294,868
資本剰余金	195,080	195,080
利益剰余金	1,217,622	1,390,751
自己株式	△29,907	△29,907
株主資本合計	1,677,664	1,850,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,788	△17,125
評価・換算差額等合計	△3,788	△17,125
少数株主持分	—	12,860
純資産合計	1,673,876	1,846,528
負債純資産合計	4,472,427	4,442,455

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	7,221,010	6,967,427
売上原価	6,102,950	5,820,673
売上総利益	1,118,060	1,146,754
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	613,970	648,879
賞与引当金繰入額	33,018	26,211
退職給付費用	16,975	17,034
役員退職慰労引当金繰入額	7,661	6,871
貸倒引当金繰入額	4,227	81,067
その他	420,892	425,570
販売費及び一般管理費合計	1,096,745	1,205,633
営業利益又は営業損失(△)	21,314	△58,879
営業外収益		
受取利息	1,621	1,395
受取配当金	5,803	2,174
投資不動産賃貸料	45,041	43,090
その他	5,051	11,401
営業外収益合計	57,517	58,060
営業外費用		
支払利息	17,437	15,154
不動産賃貸費用	16,948	16,706
その他	1,628	4,460
営業外費用合計	36,014	36,321
経常利益又は経常損失(△)	42,818	△37,140
特別利益		
賞与引当金戻入額	6,411	81
投資有価証券売却益	—	1,232
貸倒引当金戻入額	—	972
その他	831	—
特別利益合計	7,243	2,286
特別損失		
前期損益修正損	712	—
保険解約損	1,617	249
投資有価証券評価損	9,164	140,426
その他	312	1,751
特別損失合計	11,806	142,427
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,254	△177,281
法人税、住民税及び事業税	20,780	△12,107
法人税等調整額	73,214	△15,598
法人税等合計	93,994	△27,705
少数株主損失(△)	△9,229	—
四半期純損失(△)	△46,510	△149,575

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,254	△177,281
減価償却費	38,957	28,170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,157	79,333
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,306	7,266
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27,224	△41,886
受取利息及び受取配当金	△7,424	△3,569
不動産賃貸収入	△45,041	△43,090
投資有価証券評価損益(△は益)	—	140,426
支払利息	17,437	15,154
売上債権の増減額(△は増加)	250,544	68,949
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,208	8,215
仕入債務の増減額(△は減少)	△147,765	△231,605
その他	16,249	11,514
小計	135,243	△138,401
利息及び配当金の受取額	6,859	3,620
利息の支払額	△17,440	△15,694
法人税等の支払額	△80,964	△42,698
法人税等の還付額	—	5,179
その他の支出	△574	△1,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,124	△189,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△54,000	△61,010
定期預金の払戻による収入	165,307	48,800
有形固定資産の取得による支出	△136,236	△1,678
有形固定資産の売却による収入	12,128	664
投資不動産の取得による支出	△6,030	—
投資有価証券の取得による支出	△54,036	△50,677
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	131,690
子会社株式の取得による支出	—	△9,078
保険積立金の積立による支出	△8,687	△7,696
投資不動産の賃貸による収入	45,115	43,125
その他	18,478	6,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,960	100,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△39,000	105,100
長期借入れによる収入	18,800	100,000
長期借入金の返済による支出	△131,914	△141,892
社債の発行による収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	△14,201	—
リース債務の返済による支出	△10,301	△4,280
配当金の支払額	△30,390	△23,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,006	135,370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181,842	47,252
現金及び現金同等物の期首残高	485,684	308,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	303,842	355,825

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	広告業 (千円)	出版業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,851,550	369,459	7,221,010	—	7,221,010
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,832	15,096	16,929	(16,929)	—
計	6,853,383	384,556	7,237,939	(16,929)	7,221,010
営業利益(又は営業損失(△))	43,132	△23,531	19,600	1,714	21,314

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 広告業・・・テレビ・新聞・ラジオ等マス媒体での広告出稿及び広告物の制作

(2) 出版業・・・タウン誌発行

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	広告業 (千円)	出版業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,637,437	329,990	6,967,427	—	6,967,427
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,940	22,926	30,867	(30,867)	—
計	6,645,377	352,917	6,998,294	(30,867)	6,967,427
営業損失(△)	△43,767	△15,718	△59,485	606	△58,879

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 広告業・・・テレビ・新聞・ラジオ等マス媒体での広告出稿及び広告物の制作

(2) 出版業・・・タウン誌発行

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。